

日時十一・十五午後一時
会場ダルマホール

硫黄島上陸
友軍ハ地下ニ在リ
死なない島と
帰れない島
著者

酒井聡平

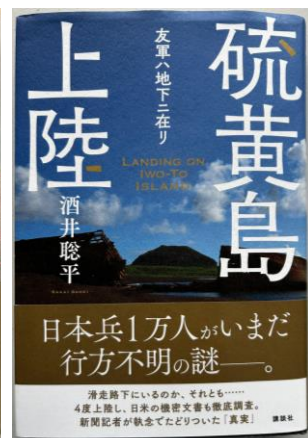
聞き手田中綾

『旧聞記者』の原点そして開拓者精神



酒井聡平

北海道新聞記者。土曜・日曜は、戦争などの歴史を取材、発信する自称「旧聞記者」として活動する。1976年生まれ、北海道出身。2023年2月まで5年間、東京支社編集局報道センターに所属し、戦没者遺骨収集事業を所管する厚生労働省や東京五輪、皇室報道などを担当した。硫黄島には計4回渡り、このうち3回は政府派遣の硫黄島遺骨収集团のボランティアとして渡島した。取材成果はX(@Iwojima2020)などでも発信している。北海道ノンフィクション集団会員。現在、北海道日高郡新ひだか町在住。『硫黄島上陸 友軍ハ地下ニ在リ』（講談社：第11回山本美香記念国際ジャーナリスト賞受賞）につづく『死なないと帰れない島』を本年七月に上梓。



2025年

日時 11/15(土)12:30開場 13:00開演 14:00終演予定

会場 DARUMA Hallダルマホール

札幌市豊平区平岸2-4（平岸街道だるまが目印）

出演 酒井聡平 田中綾（聞き手）

料金 1,000円（1ドリンク付）

※学生以下入場無料（1ドリンクは付きません）

未就学児の入場をお断りする場合があります

※ご予約不要、当日会場にお越しください

主催 一般社団法人だるま十区

協力 北海学園大学人文学部田中綾ゼミ

お問合せ先 一般社団法人だるま十区（さっぽろ福助司法書士事務所内）
（担当：福井090-5073-8004）

E-MAIL daruma10q@gmail.com

URL <https://daruma-hiragishi.jp/daruma10q/>



田中綾

北海学園大学教授・三浦綾子記念文学館館長
札幌市出身、2008年より北海学園大学勤務。
2017年、三浦綾子記念文学館館長に就任。北海道新聞にて、2022年3月より1年間、三浦綾子とその夫光世を描いた『あたたかき日光』を連載、2023年に単行本化（北海道新聞社）。